

名勝小金井桜定期パトロール報告書		No.	—
巡回日 令和3年 9月25日		時間	10:00~11:40
巡回区間 第1ブロック	参加者 田嶋、石田	報告書作成者	石田精一
1. 全体			
<p>炎暑も終り秋の気配が深まっている。</p> <p>今年のサクラは全体としては虫害も少なく、病害もなかった。ただキノコ類の発生が目立っている。</p>			
2. 桜樹			
<p>葉の萎れは前回ほど気にならなかった。#984の葉付の異常は目立たなくなった。</p> <p>ベッコウダケ、カワラダケなどのキノコ類の発生が目立つ</p> <p>ベッコウダケ #154, 157, 170, 172, 176, 1003, 1007 新規発生と拡大あり</p> <p>カワラダケ #136, 141, 144, 158 など新規発生または再度発生</p>			
3. その他の樹木			
<p>柵内の広葉樹の落葉が始まった。</p> <p>柵内に繁茂していたササが柵外の緑道部分に侵入し始めている。右岸で著しいが、左岸でも喜平橋付近に見られる。</p>			
4. 野草			
<p>朱色の可憐な花のマルバルコウが開花中そのたセンニンソウ、メドーセイジ、オシロイバナ、ミズヒキなどが咲いている</p> <p>メヒシバ、オヒシバ、エノコロガサが穂を出している。</p>			
5. 緑道			
<p>右岸 メヒシバなどのイネ科雑草が繁茂しているが中央の人の通行部分は踏み固められて、無草状態となり歩行にはほぼ支障がない。小平市から委託されたボランティアが清掃にあたっているが全面的な除草までは手が届かないとのこと。</p> <p>左岸 中央部分が舗装されているので通行に支障はない</p>			
6. その他 特記事項なし			
7. 所感			
<p>水路内に発生しているケヤキ等の高木類の多くが先端部を切除するなどされたため特に左岸では全体が明るくなった。サクラの生育には良い影響があると思われる。</p> <p>しかし景観的には如何なものか、かなり見苦しさを感ずる。</p>			